

やまぼと通信

多摩市立図書館 情報誌 182号

2月は豆(マ)に
図書館へ!!

中学2年生のHAMUちゃんから可愛いイラストをいただきました!
(表紙イラストは引き続き募集しています。)



- 〔主な記事〕
- 1P 「第3回子ども読書まつり
《ほんともフェスタ》日程」
プログラム・内容紹介」
- 2P 「ほんともフェスタ」週間
- 3P 「ピカッとひらめく本」
「シリーズ予約開始します」
「蔵書点検のお知らせ」
「マナーアップ」
キャンペーン実施中」
- 4P 「蔵書点検のお知らせ」

第3回 子ども読書まつり

《ほんともフェスタ》

～本とともだち ほんとにともだち～



☆3月6日(土) ベルズ永山(永山公民館)

6日(土)～8日(月) ギャラリー展示

☆3月7日(日) 多摩市立図書館(本館)

☆3月8日(月)～13日(土) 各図書館

おはなし会などをおこないます

☆3月14日(日) ベルズ永山(ベルズホール)

工藤直子さん(詩人・童話作家)講演会
「のはらうた、うたおう!」

あかちゃんからティーンズ
(18歳)まで たのしめる
プログラムがいっぱいあります!
大人の方もどうぞ!

詳しくは2ページへ!



多摩市立図書館

〒206-0033 多摩市落合2-29

(電話)042-373-7955

(FAX)042-375-9459

図書館ホームページアドレス <http://www.library.tama.tokyo.jp/>

携帯電話アドレス

<http://www.library.tama.tokyo.jp/i/>

2010年 2月 発行



《ほんともフェスタ週間 平成22年3月6日～14日》



スタンプラリーもあるよ!

「ほんともフェスタ」って何??

おはなしや科学あそび、工作などをたのしみながら「本」と「ともだち」になるおまつりです。
かぞくやおともだち みんなできてね! た〜くさんの「ほんとも」がまってるよ!

Pick up!

14:00～「10代の時間」

おはなしの世界をいっしょに楽しみませんか? 「ねずみじょうと」や「魔法の馬 (ロシアの昔話)」ほか

3/6の会場はこちら!



3月6日(土) ベルブ永山 プログラム

時間	内容	主な対象
10:30～12:00	まほうのわ・びんびんごまをつくらう(科学あそび)	幼児～小学生
10:30～11:10	うたって遊んでわらべうた・子守りうた	乳幼児～小学生
11:15～12:00	おもしろことばあそび	幼児～小学生
10:30～12:00	布の絵本であそぼう、つくってみよう	乳幼児・作成は大人
13:00～13:25	今も昔も紙芝居	幼児～低学年
13:30～13:55	フルッキーのひつじ・あらしのよるに(朗読けき)	どなたでも
13:30～15:00	たのしい科学あそび	幼児～小学生
14:00～14:55	10代の時間(語り)	ティーンズ
15:00～16:00	多摩のはら村～みんなで詩をよみあおう～	幼児～

2/24まで!

詩を読みたい方 募集! 15:00～「多摩のはら村」

自分の好きな詩を、声に出して読みあいます。詩の本から好きな詩を選んで、お友達やご家族と一緒に読んだり、楽器を使っても良いです。詳しくは図書館のチラシをご覧ください。

3月7日(日) 図書館本館 プログラム

時間	内容	主な対象
10:00～16:00	じどうかん かんたん工作	どなたでも
10:00～10:25	「大きな大きな絵本」(おはなし会)	幼児～低学年
11:00～11:30	「あかちゃんコアラ」(乳幼児向けおはなし会)	乳幼児
10:30～11:00	「おはなしいっぱい」(語り)	幼児～低学年
11:10～12:00		小学生
11:00～12:00	「朗読を楽しもう」(声を出して、読んで、聞いて)	中学生～
13:00～13:35	絵本を外国語で聞いてみよう!	どなたでも
13:40～14:10	「のはらうた・竹取物語」(かけえ)	幼児～ティーンズ
14:15～15:35	落語体験コーナー	高学年～
15:40～17:00	中学生ほんともクイズ	どなたでも

Pick up!

10:30～「おはなしいっぱい」みみをすまして

いると、みんなのあたまのなかに おはなしがみえてきますよ。

10:30～幼児から低学年向け 「小さいじどうしゃ」「世界で

いちばんきれいな声」「おおかみと七ひきの子やぎ」他

11:10～小学生向け「ひなどりとネコ」「かにかにこそこそ」他

15:40～「中学生ほんともクイズ」

中学生3人グループ対抗クイズ大会。

皆さん応援よろしくお願いします!

(参加チームの募集は終了しました。)

3/7の会場はこちら!



※ 図書館で配布しているプログラム兼スタンプラリー用紙をご覧ください。催しに参加してスタンプを集めるとプレゼントがもらえます!

講演会「のはらうた、うたおう！」

～くどうなおこさんと いっしょに 詩の世界であそぼう～

講師：工藤直子さん(詩人・童話作家)

日時：平成22年3月14日(日)

午後2時～4時(開場：1時30分)

会場：ベルブ永山5階 ベルブホール

☆申込不要・当日先着順 定員198名

《ほんともフェスタ週間 3月6日(土)～14日(日)》

各図書館のおはなし会など

8日(月) 11:00～ 永山図書館「おはなし会」

10日(水) 15:00～ 図書館本館・東寺方・豊ヶ丘・

関戸・聖ヶ丘図書館「おはなし会」

11日(木) 16:00～ 図書館本館「新刊紹介」

13日(土) 15:00～ 永山図書館「おはなし会」

展示：6日(土)～8日(月) ベルブ永山「わたしたちの学校図書館の

こんなこと、あんなこと」/ 6日(土)～14日(日) 図書館本館

「おはなしをよんでかきました」「君だけが描く本の世界」

『俳句脳 発想、ひらめき、美意識』

茂木健一郎著 黛まどか著

角川書店 2008



俳句は短いゆえに易しくて、誰にでも門戸を開いているが、短いゆえにひとたびその世界に入り、究めようとすると非常に難しい。また俳句は短いゆえに苦しみ、短いゆえに言葉がピタリとはまった時の喜びは大きい。脳内ではドーパミン（快感を生み出す物質）が大量に分泌される。脳科学者の茂木健一郎さんと俳人の黛まどかさんの対談は私達（俳句初心者）が疑問に思うことを分かりやすく、語っています。

どうして俳句が「一句できた！」という瞬間にドーパミンがでるのかというしくみも分かりません。俳句を作るということは、結局は自分の発見につながり、対象物を詠むことで、大いなる自己、宇宙とつながる自分を発見する。また、俳句は言葉の上では一七音節しか書かないが、あとのことには余白に漂っている。俳人が一七音を紡ぐというのは、同時に余白を紡ぐということである。本を読み進めてこれらが分かってくると、思わず自分も五・七・五の世界に浸ってみたいなあと思わせられる本です。

俳句は、一度履いたらやめられない魔法の靴と言われるそうです。そんな俳句の入口を見るのに、楽しく読める一冊です。

ピカッとひらめく、2冊の本を紹介します！

『がちょうのペチューニア』

ロジャー・デューボワザン作

まつおかきょうこ訳

富山房 1999



がちょうのペチューニアは、ある日草地で本をひろいます。「本を持ち、これに親しむものは、賢くなるって聞いたことがある！」ペチューニアは得意になって本を持ち歩き、仲間の動物たちの悩みを解決してあげます。しかし、そのお悩み解決の結果はどれも首をひねるようなものばかり……。本とはいったい何を教えてくれるものだったのでしょうか？

そんなある日、またまた草地で見つけた危険な箱をキャンディーと勘違い！仲間はペチューニアの思い違いでひどい目にあいます。最後におばかさんのペチューニアが考えて出した結論は「本は翼の下にはさんで持ち歩くだけじゃだめなんだわ。本の中身を頭や心に入れなくちゃいけない。そのためには字を覚えなくちゃいけないのよ」

ペチューニアはなんとすばらしいことがわかったのでしょうか。“ひらめき”はいつどんなときに訪れるかわからない。ペチューニアの言動に大笑いしながら、その解決法にひらめきを感じるスイスの名作絵本です。シリーズでどうぞ。

ご投稿、ありがとうございました！



『植物図鑑』 有川浩著 角川書店 2009

「お嬢さん、よかったら俺を拾ってくれませんか。咬みません。躰のできたよい子です。」「あらやだ。けっこういい男」寒い冬のある日、道ばたに落ちていた彼を拾った。「樹木の樹って書いて、イツキと読むんだ。」さやかが彼から聞いたのはそれだけ。でも、それだけで充分だった。二人の共同生活は次第にかけがえのない日々となっていく。道ばたでこっそり育てている草にも一つ一つ名前がある。そんな一つ一つを大切にすることが必要。そんなことをもう一度確認させてくれる、そんな心温まる話でもあり、有川浩さんの作品の中で一番甘いラブ・ストーリー。花を咲かすように心に愛を育てませんか？

落合在住 森菜様

『The Kissing Hand キスのおまじない』 オードリー・ペン ルース・E・ハーパー他絵 アシェット婦人画報社 2007

初めて学校に行く朝、お母さんと離れたくなくて不安いっぱいの子エスター。そんな時にお母さんから絶対に消えないキスのおまじないをもらいました。新しい世界にふみだすとき、子どもは（大人もそうですが）期待とともに不安も覚えるものです。そんな時にぎゅっと抱きしめられ、このおまじないをもらえたらきっと勇気がわいてくるはず。親子で読みたい一冊です。



落合在住 Y.H 様

2010年3月1日から

「シリーズ予約(巻数順予約)」を

開始します！

上下や1〜5巻等に分かれているシリーズ物の予約について、先の巻から順番にご用意する「シリーズ予約(巻数順予約)」が可能となります。

★ シリーズ予約の方法は？

① 図書館にある利用者用端末で

通常の予約入力をしてから「利用者メニュー」で「巻数順予約設定」をしてください。

② 窓口で申し込む

「シリーズ予約の申し込み用紙」に記入して申し込んでください。

※詳しい手順は、利用者用端末近くの操作案内をご覧ください

※ インターネットではシリーズ予約はできません。

★ シリーズ予約のしくみ

上巻より先に下巻が届いた場合、その時点で下巻は確保されず、自動的に次の予約者にまわります。

1〜5巻などの場合も、先の巻がご用意出来てから後の巻をご用意します。(インターネットや利用者用端末の表示上の順番と、ずれが生じる場合があります。)

★ シリーズ予約ができる物は？

順番に読まなければならない続きもの本です。それ以外の物をシリーズ予約すると、すぐご用意できるはずの物でも、なかなか届かないことがありますので、ご遠慮ください。

書庫館・団体貸出室

蔵書点検のお知らせ

3月15日(月)〜19日(金)

図書館本館内にある書庫館・団体貸出室の蔵書点検を行います。右記の期間中、全館通常どおり開館しますが、書庫・団体室の資料は利用いただけませんのでご了承ください。

館内利用者用端末やインターネットなどで検索した結果、所蔵館が「書庫(本館内)」「団体(本館内)」と出るものが該当の資料となります。予約いただく場合、ご用意できるのは3月20日(土)以降となります。

蔵書点検ってなに？



図書館に在庫する資料の所蔵データと現物をつけあわせる作業で、多摩市の図書館では、年に一度、この作業を行なっています。

今回は本館にある書庫・団体室のみの作業ですので、全館通常どおり開館いたします。

蔵書点検は、在庫の状態を明らかにし、インターネットなどから予約された資料を確実に皆さまにお届けするための大切な作業です。ご理解・ご協力をお願いします。



マナーアップ・キャンペーン

常時実施中!

図書館では、館内の利用マナーについて、多くの方からご意見をいただきました。

中でも多い内容が、「声」をはじめとする「音」に関することです。

静かな読書環境の維持のため、以前から、周りの方の迷惑となるようなお喋りは遠慮いただいています。最近増えているのが「携帯電話」に関するご意見です。

電話での会話は、つい声が大きくなりがちです。館内での携帯電話の利用は、ご遠慮ください。

携帯を耳にあて、早足で出口に向かいながら「今図書館なんだけど…」最近館内でよくお見かけする姿です。「着信が切れる前に電話に出たい」、そのお気持ちは良く分かりますが、携帯には着信記録も残ります。どうぞ出口を出るまで、通話はお控えください。

また「着信音」にもご配慮をお願いします。ページを繰る音が耳に届く館内で、突然鳴り響くCMソング。ご本人もビックリ、慌てて鞆の前身を探る…そんな事の無いよう、入館時にお気遣いをいただけると、より一層、図書館でのひと時を気持ちよくお過ごしいただけるかと思えます。

